

30年度当初予算の概要

あじさい都市第2ステージへ 総合戦略の本格推進予算へ

30年度の予算が3月通常会議で可決されました。一般会計と特別会計を合わせた予算総額は582億1685万円と、前年度に比べて10億1262万円、率にして1.8%の増となりました。本年度予算は、「北上市版総合戦略の推進」「総合計画の推進」「財政力の強化」の3つを政策推進の柱として、施策の実現性・緊急性・必要性の高いものを中心に編成しました。

問い合わせ 財政課 ☎72-8249

●一般会計予算

一般会計の予算総額は399億1000万円。前年度に比べて28億9000万円、率にして7.8%の増となり、大規模工場の立地に伴う幹線道路の整備や、公共施設の整備のため、過去最大の金額となりました。予算の編成にあたっては、必要性和実現性の高いものを優先して政策事業を定めました。一般会計の歳入と歳出の内訳は下の図のとおりです。

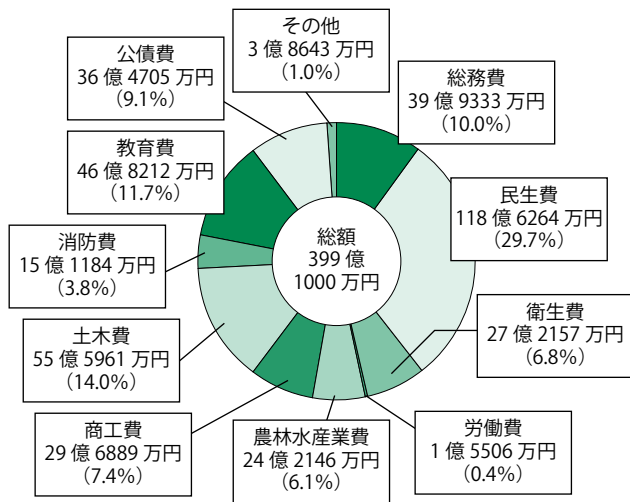
【歳入】

県内の景気の改善傾向などを勘案し、市税は前年度に比べて2億8222万円の増を見込む一方、地方交付税は3億900万円の減を見込んでいます。

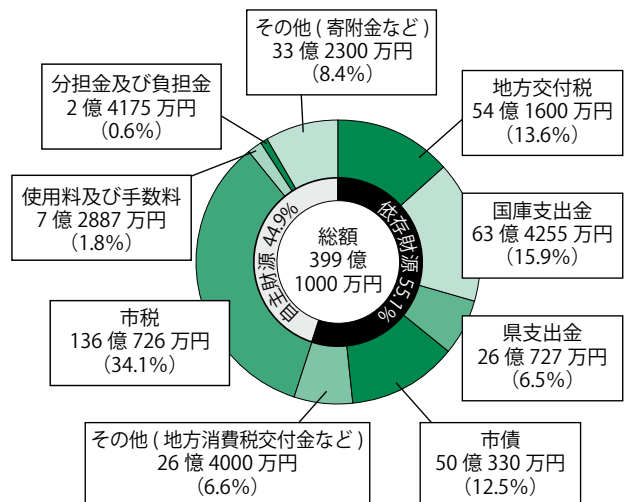
見込んでいます。また、大規模な建設事業に対応するため、国庫支出金は前年比13億3954万円の増、市債は18億1480万円の増となりました。

【歳出】
過去の大規模事業にかかる借入れの償還が進み、公債費が減少していること、また扶助費も減少傾向にあることから、義務的経費は前年度に比べて7億1394万円の減を見込んでいます。一方で、新規の大規模な建設事業や道路整備を予定していることから、投資的経費は前年比36億160万円の大幅増を見込んでいます。

歳出



歳入



歳出(性質別)

義務的経費 (39.6%)	人件費(12.6%)
	扶助費(17.9%)
	公債費(9.1%)
投資的経費(17.6%)	
その他経費 (42.8%)	物件費(16.7%)
	補助費等(11.9%)
	繰出金(9.0%)
	投資・貸付金等(5.2%)

用語解説

- ◆地方交付税…市町村の財政力に応じて、国から交付されるお金
- ◆市債…事業を行うために市が計画的に借りるお金
- ◆国庫支出金・県支出金…国または県が市の行う事業に交付する補助金など
- ◆義務的経費…支出することが制度的に義務づけられている経費
- ◆投資的経費…道路や建物などの社会資本の形成に係る経費
- ◆扶助費…児童・高齢者・障がい者などへの支援に要する経費
- ◆繰出金…特別会計に繰り出すお金

【市税の内訳】

市民税	57億2,209万円
固定資産税	68億1,239万円
軽自動車税	2億8,653万円
市たばこ税	7億7,414万円
その他	1,211万円

